

2016年1月1日～2021年7月31日の間に 附属病院にて全身麻酔手術を受けられた方及びご家族の方へ

PONV(悪心嘔吐)予防に有効なデキサメタゾンの用量についての後ろ向き研究」へのご協 力のお願い

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者 川崎医科大学麻酔・集中治療医学1 臨床助教 寺岡 和賀子
研究分担者 川崎医科大学麻酔・集中治療医学1 教授 中塚 秀輝
川崎医科大学麻酔・集中治療医学2 教授 戸田 雄一郎
川崎医科大学麻酔・集中治療医学2 臨床助教 申 木蓮

1. 研究の概要

全身麻酔の手術後はしばしば吐き気が起こります。その予防のため、麻酔中にデキサメタゾンを使用することがあります。ただ手術が終わった後、吐き気を予防するために効果的なデキサメタゾンの用量については一定の見解は得られていません。

デキサメタゾンの用量によって、術後嘔気の発生頻度に影響が及ぶのかを、麻酔記録や診療記録を用いて後ろ向きに研究を行います。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2016年1月1日～2021年7月31日の間に川崎医科大学附属病院において全身麻酔の手術を受けられた方を研究対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会承認日～2023年12月31日

3) 研究方法

上記の研究対象期間に当院において全身麻酔の手術を受けられた方で、研究者が診療情報をもとに術中に使用されたデキサメタゾンの用量、手術と麻酔内容、患者情報のデータを選び、術後の嘔気、嘔吐との関係を調査します。またデキサメタゾンを使用することにより術後にどのような影響を及ぼすのかを合わせて研究します。

4) 使用する情報の種類

情報：デキサメタゾンの使用量、手術内容、手術時間、麻酔内容、麻酔時間、手術に使用する麻酔薬剤、人工呼吸時間、麻薬使用量、年齢、性別、BMI、既往歴、内服歴、入院期間、人工呼吸時間 等

5) 情報の保存

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から5年間、川崎医科大学麻酔・集中治療医学1実験室内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。

6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2022年12月31日までの間に、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学麻酔・集中治療医学1

氏名：寺岡 和賀子

電話：086-462-1111 内線 44478（平日：8時30分～17時00分）

ファックス：086-464-1190

E-mail：teratera114@gmail.com

3. 資金と利益相反

この研究は、学内研究費を用いて行われる予定です。

本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。